

# 「学びの教室」

## 通信

令和元年5月27日  
 文京区立駒本小学校  
 特別支援教室「学びの教室」  
 校長 吉岡 淳  
 直通電話 3827-5575  
 (ファクシミリ兼用)

## 注目して物を見るということ

今号では、先月上旬まで取り組んでいたコミュニケーションタイムの学習「すきまクイズ」を紹介します。この「すきまクイズ」は、同じ大きさの2枚のパネルを横に並べて、その間の隙間（約2.5cm～5cm）を作り、その隙間を高速で通る絵カードに描かれた内容を答えるというものです。

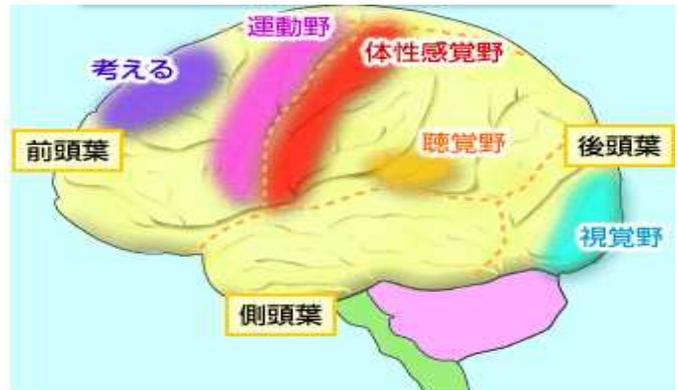
もちろん、「学びの教室」は、様々なお子さんが学習する場ですので、その時のグループの児童の実態に合わせ、隙間の間隔を変更したり、絵カードが隙間を通るスピードを調節したりしています。さらに、絵カードは毎回、特定の分野の中から1分野だけ（いくつかの分野の中から、今回は食べ物を選択しています）をヒントなどを伝えた上で提示するようにしています。

さて、「すきまクイズ」は、活動自体を楽しんだり、ルールを守って参加したりすることをねらうだけでなく、隙間をある程度以上のスピードで通るカードに注目することで、“特定の物に注意を向けることのできる能力”の向上をねらっています。



近年、脳科学研究の進展により、人間が特定のものに注意を向けていると、脳の視覚を司る「視覚野」の神経活動が増大することが判明しています。また、その際に視覚野から脳内の他の部分に優先して情報を伝える仕組みも整っていることが明らかになってきました。これらの視点からも「すきまクイズ」は有効なものだと捉えています。

もちろん、週1回のコミュニケーションタイムだけでこの「視覚野」の劇的な向上を図ることは難しいかも知れません。しかし、繰り返し取り組むことで、子どもたちが特定のものに注目することの大切さを意識できるきっかけになればと考え、今後も指導を工夫していきます。

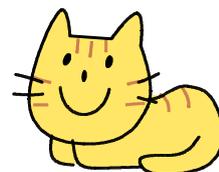


## 6月の予定

- ・ 5日（水）体カテスト（全校）のため、晴天時は3・4校時の指導はありません。

## 7月の予定

- ・ 8日（月）月曜グループ指導終了
- ・ 10日（水）水曜グループ指導終了
- ・ 12日（金）金曜グループ指導終了



## 6月のコミュニケーションタイムの主な学習予定

### 「天下ボール」

- 4つに区分けされた陣地の中に、ワンバウンドでボールを打ち込むゲーム。ラリーが続かなくなった時点で、順位が一つずつ入れ替わる。
- ・ 勝敗にこだわり過ぎず、結果を素直に受け入れる態度を養う。
- ・ 目と手の協応を向上させる。



### 「ジャンボジェンガ」

- 大型の紙製ブロックを使ったバランスゲーム。
- ・ 達成感や楽しさを味わい、進んで活動したり最後まで取り組んだりする態度を養う。
- ・ どの部分を動かせばよいか、積み上げられたブロック全体を大きな視点で見る力を向上させる。
- ・ 微細運動を向上させる。

### 「スリーヒントゲーム」

- 読み手が出すヒントを全て聞いてから、該当のカードを取るゲーム。
- ・ 自己の認知の特性を意識し、行動の調整力の基礎を育む。

## <保護者の皆様へ 1学期末個人面談について>

1学期当初個人面談にご協力いただきありがとうございました。

「学びの教室」では、7月16日（火）より1学期末個人面談を行います。今回は希望制で、会場は「学びの教室」の個別指導室となります。

後日、日程等を記載したお知らせ（プリント）を配布いたします。お手数をおかけしますが、お知らせに記載した締め切り日までに希望調査票の提出にご協力ください。

